



2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 株式会社岐阜造園 上場取引所 東 名
コード番号 1438 URL <https://www.gifu-zohen.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 準
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 兼松 正道 TEL 058-272-4120
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績（2024年10月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	4,601	19.6	489	13.3	497	13.3	337	11.5
2024年9月期第3四半期	3,847	0.8	431	31.8	438	31.4	302	28.8

(注) 包括利益 2025年9月期第3四半期 360百万円 (11.4%) 2024年9月期第3四半期 323百万円 (26.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	104.10	103.44
2024年9月期第3四半期	94.23	93.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	5,470	4,073	74.5
2024年9月期	5,294	3,820	72.2

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 4,073百万円 2024年9月期 3,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	-	15.00	-	15.00	30.00
2025年9月期	-	18.00	-	-	-
2025年9月期（予想）	-	-	-	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	15.4	489	9.4	502	10.1	336	△1.3	103.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期3Q	3,242,600株	2024年9月期	3,242,600株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	387株	2024年9月期	387株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年9月期3Q	3,242,213株	2024年9月期3Q	3,212,390株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いたものの、物価上昇の継続と海外経済の不透明感が景気の重石となり、全体としては力強さを欠く推移となりました。個人消費については、賃金の上昇や各種支援策が下支えとなったものの、実質購買力の回復には至らず、回復の足取りは鈍い状況となりました。一方、訪日外国人観光客の増加は引き続きサービス消費の拡大に寄与し、地方都市を含めた観光関連業の活性化に貢献いたしました。企業の設備投資は堅調に推移したものの、中国や欧州経済の減速により輸出は伸び悩み、製造業の一部では慎重な姿勢が見られました。

建設業界においては、公共建設投資は、国土強靱化に向けた施策やインフラ老朽化対策が継続されたことから、堅調に推移いたしました。民間建設投資についても、都市部を中心とした再開発事業や物流施設・ホテル等の非住宅分野における投資が継続し、総じて底堅い動きとなりました。しかしながら、建設資材価格は依然として高止まりしており、加えて人手不足による工期の長期化やコスト上昇への対応が各社の経営課題となっております。

このような状況の下で、当社グループは、持続可能な成長を図るべく、施工力・提案力の強化と人材育成に注力してまいりました。人材面では、若手層・中堅層の育成を目的とした研修制度「岐阜造園アカデミー」の充実を図るとともに、働き方改革を背景に、多様な働き方への対応と生産性向上に取り組みました。事業面では、ガーデンエクステリアにおいて、大手ハウスメーカーとの連携強化を進め、案件規模の拡大や地域別の提案強化が奏功し、受注高は堅調に推移しております。ランドスケープにおいても、首都圏の高級商業施設や宿泊施設を中心に、新規案件の受注が進みました。売上・利益面では、大阪・関西万博に関連する造園工事の完工が寄与したほか、富士山を臨む高級旅館の大型造園工事が順調に進捗し、計画を上回る水準で推移しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,601,163千円（前年同四半期比19.6%増）、営業利益は489,058千円（前年同四半期比13.3%増）、経常利益は497,332千円（前年同四半期比13.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は337,510千円（前年同四半期比11.5%増）となりました。

なお、当社グループは造園緑化事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形・完成工事未収入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて175,927千円増加し、5,470,058千円となりました。

負債は、支払手形・工事未払金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて77,422千円減少し、1,396,082千円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて253,350千円増加し、4,073,976千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の事業環境、経済状況の変化等様々な要因により予想と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,447,632	2,498,085
受取手形・完成工事未収入金	846,758	959,462
未成工事支出金	11,022	11,199
販売用不動産	71,607	60,506
その他	63,895	72,996
貸倒引当金	△3,315	△4,392
流動資産合計	3,437,601	3,597,857
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	461,328	441,088
土地	938,169	938,169
その他(純額)	23,032	21,975
有形固定資産合計	1,422,530	1,401,234
無形固定資産	14,423	23,833
投資その他の資産		
その他	426,294	453,852
貸倒引当金	△6,719	△6,719
投資その他の資産合計	419,575	447,133
固定資産合計	1,856,529	1,872,200
資産合計	5,294,131	5,470,058
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	508,359	441,719
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	15,020	24,996
未払法人税等	107,202	69,618
未成工事受入金	103,040	70,446
賞与引当金	44,070	4,008
完成工事補償引当金	11,530	12,214
その他	230,474	332,573
流動負債合計	1,219,698	1,155,577
固定負債		
長期借入金	11,652	33,606
役員退職慰労引当金	204,134	166,261
退職給付に係る負債	37,560	40,178
その他	460	460
固定負債合計	253,806	240,505
負債合計	1,473,505	1,396,082

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,032	412,032
資本剰余金	353,331	353,331
利益剰余金	3,001,421	3,231,939
自己株式	△282	△282
株主資本合計	3,766,503	3,997,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,251	76,083
その他の包括利益累計額合計	53,251	76,083
新株予約権	871	871
純資産合計	3,820,625	4,073,976
負債純資産合計	5,294,131	5,470,058

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,847,790	4,601,163
売上原価	2,659,236	3,230,157
売上総利益	1,188,554	1,371,005
販売費及び一般管理費	757,093	881,947
営業利益	431,460	489,058
営業外収益		
受取配当金	5,187	6,029
受取地代家賃	6,561	6,561
その他	2,845	3,477
営業外収益合計	14,593	16,068
営業外費用		
支払利息	581	1,321
不動産賃貸費用	5,762	5,872
その他	720	600
営業外費用合計	7,065	7,794
経常利益	438,988	497,332
特別損失		
減損損失	—	4,364
特別損失合計	—	4,364
税金等調整前四半期純利益	438,988	492,968
法人税、住民税及び事業税	125,541	137,624
法人税等調整額	10,730	17,832
法人税等合計	136,271	155,457
四半期純利益	302,716	337,510
親会社株主に帰属する四半期純利益	302,716	337,510

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	302,716	337,510
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,669	22,832
その他の包括利益合計	20,669	22,832
四半期包括利益	323,385	360,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	323,385	360,343

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、造園緑化事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	31,232千円	28,221千円